

# 在伯日系企業が直面する課題と パラグアイへの期待

ブラジル日本商工会議所  
会頭 村田 俊典

# 在伯日系企業が直面する課題とパラグアイへの期待

## 本日のプレゼンテーション

○ブラジル日本商工会議所の概要

○在伯日系企業が直面する課題と

パラグアイへの期待

○会員企業のパラグアイ展開支援

# ブラジル日本商工会議所の概要

1. 設立：1940年（前身の商工組合設立1926年）
2. 会員数：363社（うち日系企業235社） ※2015年9月時点  
金融部会（20社）、貿易部会（36社）、機械金属部会（53社）、自動車部会（37社）、  
コンサルタント部会（59社）、建設不動産部会（16社）、電気電子部会（32社）、  
食品部会（19社）、運輸サービス部会（50社）、化学品部会（31社）、繊維部会（10社）

→製造業が多く、厳しいブラジルコストとの戦いに直面

3. 基本方針：

「開かれた、チャレンジする、全員参加の会議所」

会員のために機能する、有益な会議所を目指すと同時に公的団体としての役割を果たしていく。

4. 会議所の活動

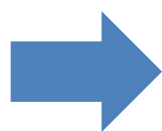
- (1) 政府への提言
- (2) 情報提供
- (3) 人的交流

→課題解決に向け、国を超えた新たな連携も必要な時代に

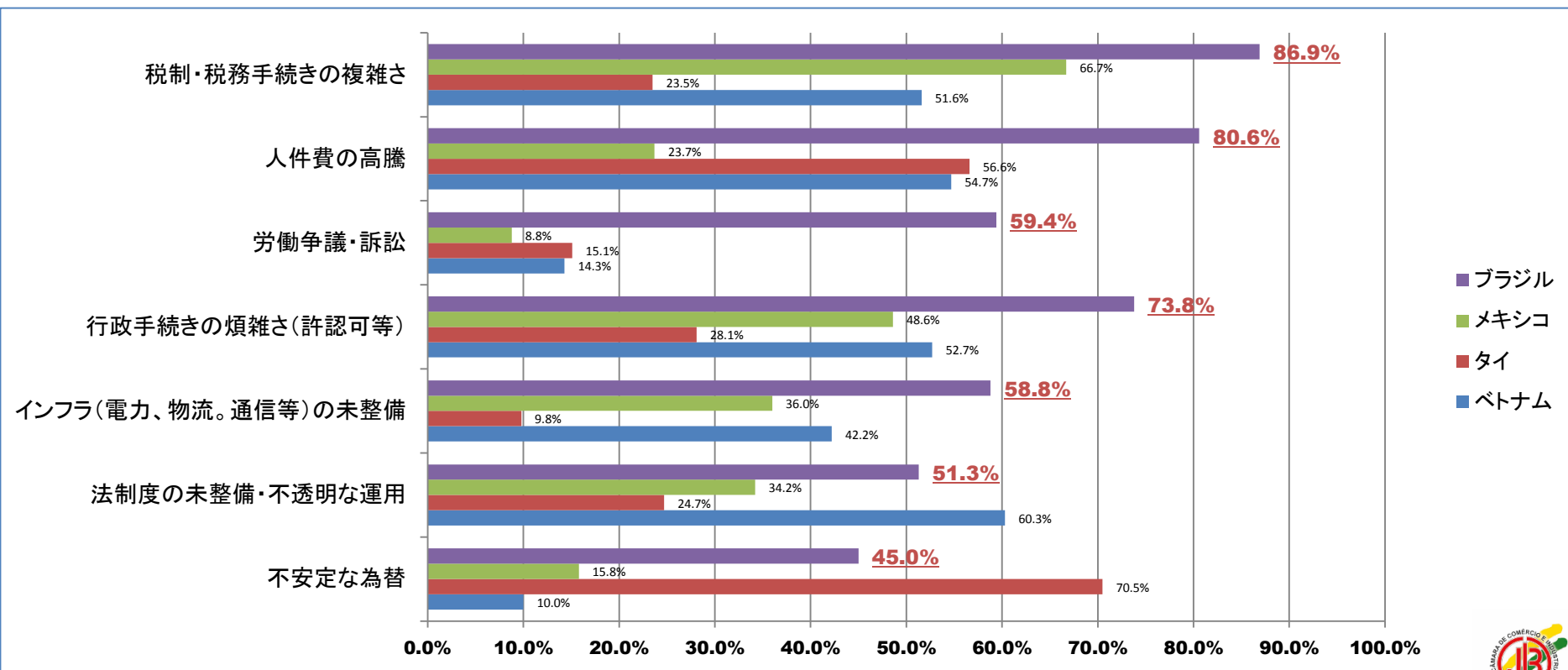
在伯日系企業が直面する課題とパラグアイへの期待在

# 伯日系企業が直面する課題

重い税負担、人件費の高騰、煩雑な行政手続き、法制度の未整備・不透明な運用への不満は、他の新興国を大きく上回る。



**構造問題に起因する課題が多く、解決に時間を要する。  
企業の競争力を阻害**



# パラグアイへの期待 (会員企業へのアンケート)

## 1. パラグアイ進出のメリット（上位）

「人件費」「人材の質」「納税環境」「貿易環境」をパラグアイ進出のメリットと考える企業が多い。

＜参考＞月額賃金の比較（製造業）

職種	アスンシオン (米ドル)	サンパウロ (米ドル)	カンピーナス (米ドル)	マナウス (米ドル)
ワーカー(一般工職)	392 <sup>ドル</sup>	1,044 <sup>ドル</sup>	1,013 <sup>ドル</sup>	906 <sup>ドル</sup>
エンジニア(中堅技術者)	1,720 <sup>ドル</sup>	4,940 <sup>ドル</sup>	4,780 <sup>ドル</sup>	4,275 <sup>ドル</sup>
中間管理職(課長クラス)	2,150 <sup>ドル</sup>	7,718 <sup>ドル</sup>	7,451 <sup>ドル</sup>	6,658 <sup>ドル</sup>

【出所】JETRO

## 2. 進出可能性（回答数：約70）

「進出を具体的に検討」「具体的な検討は無いが将来的な進出に関心有り」と回答した企業が全体の1/4

 **ブラジルコストを補完するパラグアイへの期待が高い**

在伯日系企業が直面する課題とパラグアイへの期待

# 会員企業のパラグアイ展開支援

会員企業のパラグアイでのビジネス展開に向け、パラグアイ商工省、ジェトロとの共催等により、以下を実施。

## ■定例昼食会での講演（2014年3月）

レイテ商工大臣をお迎えし、パラグアイの魅力や投資環境を在伯日系企業幹部に紹介



## ■パラグアイ経済セミナー（2014年3月）

<http://jp.camaradojapao.org.br/news/atividades-da-camara/?materia=12906>

レイテ商工大臣を講師に迎えパラグアイの魅力や投資環境を在伯日系企業に紹介。



## ■個別面談/意見交換会（2015年4月）

レイテ商工大臣一行を迎えて、ジェトロ・サンパウロ事務所にて、パラグアイ投資関心企業等との個別相談・意見交換会を実施（7社）

ご清聴ありがとうございました。